

令和8年1月28日(水)  
問い合わせ先 観光商工課観光プロモーション室  
電話 0479—24—8707(直通)  
問い合わせ先 消防本部予防課  
電話 0479—22—3295(直通)

宿泊施設(ホテルニュー大新・大新旅館)の休業に伴う対応状況

令和 7 年 (2025 年)	11 月 4 日	市民や関係者から、両ホテルの代表者と連絡が取れないなど実質休業状態であるという情報が入る。
	11月 6 日	ホテルニュー大新及び大新旅館の施設を現地確認。
	11月 11日	ホテル公式ホームページや予約サイトで予約の受付ができる状態であることが判明。
	11月 12日	【県(保健所)】 ホテルニュー大新及び大新旅館の現状を報告。
	11月 13日	消防本部と銚子警察署に報告。 【市(消防)】同日、消防本部と銚子警察署でホテルニュー大新を現地確認。
	12 月 1 日	【市(消防)】消防本部より危険物地下タンク貯蔵所の違反に係る警告書を交付。
	12 月 4 日	施設関係者と連絡が取れる。 市から、ホテルニュー大新ホームページへの休業表示や予約サイトの停止など、予約者への説明責任を強く要請。
	12 月 11 日	市観光協会のホームページに、休業中であること、連絡が取れない状況にある旨の内容を掲載。 同日付で市ホームページ(初日の出情報)に掲載し、注意喚起と情報連携を図る。
	12 月23日	【市(消防)】弁明の機会付与通知書を大新旅館、ホテルニュー大新へ発出。
	12 月25 日	【市(消防)】保健所(旅館業法など)と消防本部(消防法)が当該施設に立入検査。 【県(保健所)】 県(保健所)が営業者と連絡が取れ、営業者から停止届が提出。 (停止期間:令和7年11月15日～令和8年1月31日) ホテルニュー大新ホームページの休業表示、予約サイトの停止を確認。

	12月26日	<p>県・市・市観光協会などとホテル営業者による会議。</p> <p>【市(消防)】 危険物施設の違反、警告書、弁明書、使用停止命令などの交付、命令解除の要件について説明。</p> <p>【市観光協会など】宿泊利用者への個別対応の要求やホテル管理の問題提示と改善策の協議。</p> <p>【県(保健所)】 施設の衛生管理の徹底などを文書で指導。</p> <p>【市】休業を知らずに訪れた方への対応として、ホテルニュー大新の玄関口に、同施設の連絡先を掲載した張り紙を設置。</p>
	12月28日	<p>【市(消防)】銚子市観光協会、銚子市旅館ホテル組合、犬吠埼温泉協議会、銚子警察署などと連携し、銚子市消防本部がホテルニュー大新周辺の定期的な見回りを実施(12月28日から1月4日まで)。</p>
	12月30日	<p>旅館ホテル組合のご尽力により、年末年始の予約は概ねキャンセルの連絡完了。</p>
	12月31日	<p>現地の野次馬対策として、市がホテルニュー大新の駐車場入口に立入禁止のバリケードを設置。</p> <p>市観光協会、市旅館ホテル組合が大晦日の体制を構築。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアが現地待機(14時～18時)→来訪宿泊客なし</li> <li>・万一の来客時の際の近隣ホテル(犬吠埼ホテルなど)で受け入れ</li> <li>・年末年始(9時～17時)の駅前観光案内所での窓口及び電話対応</li> </ul>
令和8年 (2026年)	1月1日	<p>初日の出の警備と合わせ、特にトラブルなし。</p>
	1月5日	<p>年末年始(12/27～1/4)において、休業を知らずにホテルニュー大新を訪れたお客様がいないことを市観光協会及び市旅館ホテル組合を通して確認。</p>
	1月6日	<p>【市(消防)】銚子市観光協会、銚子市旅館ホテル組合、犬吠埼温泉協議会、銚子警察署、銚子市消防本部がホテルニュー大新周辺の定期的な見回りを引き続き実施。</p>
	1月8日	<p>【市(消防)】消防法違反当該貯蔵所の使用停止命令交付(危険物地下タンク貯蔵所)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルニュー大新正面玄関、危険物地下タンク貯蔵所へ公告公示</li> <li>・消防本部ホームページ内「命令を受けている対象物」へ掲出</li> </ul>
	1月19日	<p>【県(保健所)】 営業者から停止届を再度提出した旨連絡あり。 (停止期間:令和8年2月1日～令和8年7月31日)</p> <p>【市】関係団体との連携により実施してきた、年末年始の宿泊予約者に対する休業の連絡等の緊急対応の終了を営業者へ通知。(営業者も了承)</p>